

【事業報告】

平成 19・20 年度の事業報告

総括

京都医療科学大学」の開学に合わせ、当学友会名称も「京都医療科学大学学友会」に変更した。平成 19・20 年度の学友会事業は、これまで通り「会員相互の親睦を図る」、「母校の発展を後援する」を念頭に常置委員会を中心に活動を行い、ほぼ計画どおりに達成できた。

以下に事業結果の総括を報告する。

(1) 母校への後援活動について

前年度に行った4年制大学への改組転換を支援するための募金活動のような有形の事業は無かったが、入学式・卒業式に臨席し祝辞を述べ、その中で学友会の活動を紹介した。また、学園祭と同時に開催されたオープンキャンパスでは学友会による相談コーナーを設けるなど積極的に学園行事に協力した。

(2) 支部との連携活動について

本会活動の基本理念である「会員相互の親睦を図る」ため支部活動は極めて重要である。2年間にわたって、全国 12 支部、延べ 18 回の出席要請を受け、会長、副会長、理事が協調して支部総会に出席した。各支部総会では、母校支援のために「入学希望者の紹介要請」、「卒業予定者への就職情報提供」などを呼びかけた。

(3) 山田勝彦先生退任記念講演・祝賀会について

平成 20 年 5 月 31 日(土)京都ホテルオークラで開催、263 名の会員参加と約 350 名から記念品代の提供があった。山田先生には「技師教育 50 年を回想して」のタイトルで講演をしていただき盛会裏に終えることができた。50 年にわたる母校での教育、学術活動などの功績、貢献を称え改めて感謝いたします。

(4) 終身会費の扱いについて

利息収入増を図るため三菱東京 UFJ 信託銀行に定期預金していた終身会費を、国債と京都府債に預け替えた。

通常の事業に関する報告は下記に「委員会報告」として示す。

委員会報告

(1) 庶務委員会

「学友会事務室」に机・椅子などを整備し、学友会事業の遂行に有効に利用している。

通常の業務:理事会(年4回)および打合せ会議の開催。学友だより(年4刊)の発送、ホームページの定期的な更新および内容の充実を図った。会員情報管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行った。また、支部総会および同窓会開催時には、会員宛名シールの提供を行った。

(2) 編集委員会

「学友だより」を通巻 184 号(平成 19 年 7 月 10 日発行)から A4 版にサイズ変更を行なった。紙面サイズの変更に伴い、平成 17・18 年度の総頁数 116 頁に比べ平成 19・20 年度は 102 頁と約 12%削減できた。

「学友だより」を年4回発行し、会員との情報の連携に努めた。内容については、当初の予定通り必要事項は全て掲載できた。加えて通巻 191 号(平成 21 年 4 月 10 日発行予定)の発行準備を行った。

「学友だより」

通巻 183 号 2007 年(H19-No.1) 平成 19 年 4 月 1 日発行 B5 版 12 頁

通巻 184 号 2007 年(H19-No.2) 平成 19 年 7 月 10 日発行 A4 判 14 頁

通巻 185 号 2007 年(H19-No.3) 平成 19 年 10 月 1 日発行 A4 判 14 頁

通巻 186 号 2008 年(H19-No.4) 平成 20 年 1 月 10 日発行 A4 判 16 頁

通巻 187 号 2008 年(H20-No.1) 平成 20 年 4 月 10 日発行 A4 判 8 頁
通巻 188 号 2008 年(H20-No.2) 平成 20 年 7 月 10 日発行 A4 判 14 頁
通巻 189 号 2008 年(H20-No.3) 平成 20 年 10 月 10 日発行 A4 判 8 頁
通巻 190 号 2009 年(H20-No.4) 平成 21 年 1 月 10 日発行 A4 判 16 頁
(総頁数 102 頁)

(3) 企画委員会

就職懇談会の開催

平成 19 年 9 月 1 日(土)、平成 20 年 8 月 31 日(土)の両日、午後 1 時 30 分から母校集中講義室において、短大 3 年生を対象に就職懇談会を実施した。

『平成 19 年度』講師として短大卒業生を中心に 7 名の方をお願いした。企業に席を置く短大卒業生にも参加していただいた。病院種別、企業、女性技師および新卒業生の立場から発言していただき、その後質疑応答を行った。

『平成 20 年度』講師として短大卒業生を中心に 6 名の方をお願いした。助言者には、学友会会長を含めて 5 名の参加を得た。それぞれから意見をいただいた後、質疑応答を行った。両日ともに懇談会終了後、在校生との懇親の場を持った。

求人状況は年々減少傾向にある。この問題に関しては学校側と学友会との連携を緊密にし、学友会側もサポート体制を強化する必要がある。

学園祭における学友会相談コーナーの開設

学友会だよりに、学園祭への参加案内を掲載した。

平成 19 年 10 月 20 日(土)、平成 20 年 10 月 18 日(土)に開催された学園祭(秋桜祭)に例年通り「学友会何でも相談コーナー」を設け、在校生の各種の相談に応じると同時に、在校生と卒業生との親睦を図った。

相談の主な内容は就職問題であり、学生の関心が学生年次に関係なく、大きなウエイトを占めていた。

両日とも、大学のオープンキャンパスも開催され、見学に訪れた入学希望者(高校生、保護者)の相談を受けられたのは有意義であった。

学友会ホームページのリニューアル

4 年制大学の開学に合わせ、京都医療科学大学のホームページ改訂が行なわれた。それに伴い学友会ホームページについても、就職懇談会の講師陣に協力を依頼し、掲載内容の検討を行い、全面的な改定を行った。

(4) 名簿委員会

2008 年版会員名簿を平成 20 年 11 月(有償 2,000 円)に発行した。

印刷部数 702 冊(内 2 冊:見本刷り)、有償頒布数は 484 冊(968,000 円)、無償配布 84 冊(学友会 7 冊、広告社 45 冊、在学生 32 冊)で、残数が 134 冊である。

広告社については厳しい経済情勢の中、34 社(1,830,000 円)の申込をいただいた。

(5) 表彰委員会

「表彰規定」の改定と「内規」の制定

「表彰規定」の中の、表彰の種別・基準、推薦・申請、審査・選考などに関して改定を行った。表彰の種別として「学友会栄誉賞」、「学友会奨励賞」を新たに創設した。また、「名誉会員並びに表彰候補推薦内規」を新たに制定し、表彰等の基準の明確化を図った。

2009 年学友会総会表彰者等

『名誉会員の推戴』:長年副会長を務められた、山田勝彦氏(京都支部 31 回生)、厚東正之氏(京都支部 35 回生)を本会名誉会員に推戴することを理事会で承認決議し、2009 年総会(高山)に提案することとした。

『学友会栄誉賞』:50 年間にわたり母校の教授等を務め、学会・技師会等においても大きな指導力で発展

させることにより母校の名声をあげた山田勝彦氏(京都支部 31 回生)に学友会荣誉賞第1号を贈呈することに決定した。

『功劳賞』:長年会長・理事を務められた故石山忍氏(京都支部 36 回生)。長年副会長・理事を務められた厚東正之氏(京都支部 35 回生)の両氏に功劳賞を贈呈することを決定した。

『学友会奨励賞』:支部推薦のあった村中博幸氏(広島支部 57 回生)に学友会奨励賞を贈呈することを決定した。

以上

*通巻 192 号 2009 年 7 月 10 日発行(H21 - No.2)より